

コロンビア経済情勢（９月）

【ポイント】

- ８月の年間インフレ率は１０．８４％に上昇
- ２０２３年予算案は、総額４０５兆６，２００万ペソに増額され本会議審議に送られた
- 中央銀行は、政策金利を１０％に引上げ
- 中央銀行は、２０２２年の経済成長予測を７．８％に引上げ
- ベネズエラとの国境を再開

【本文】

１ 主な出来事

<国内情勢>

（１）貿易

（ア）コロンビアの輸出は２０１２年以来最高額（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、３日）

国家統計庁(DANE)は、２０２２年１月から７月の輸出が３４５億６，１２０万米ドル（FOB）に達し、新型コロナウイルス流行前の２０１９年同期の２３５億５，７４０万米ドルと比べ４６．７％増加し、２０１２年同期以来の最高の数値となった。このうち米国への輸出は全体の２６．０％を占め、パナマ（１０．６％）、インド（４．９％）、オランダ（４．８％）、トルコ（４．７％）、ブラジル（４．２％）、中国（３．６％）と続く。中国への輸出は１２億３，３００万米ドルと前年同期の２３億６，４１０万米ドルと比べ４７．８％減少した。

（イ）２０２２年７月までの貿易赤字は昨年同期より減少（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、１６日）

国家統計庁（DANE）の報告によると、２０２２年１月から７月の輸入は４１７億６，０４０万米ドル（FOB）で、同期の貿易赤字は７１億９，９２０万米ドルとなり、２０２１年同期の貿易赤字（７８億２，７４０万米ドル）と比べ８％減少したが、新型コロナウイルス流行前の２０１９年同期（５４億７，０８０万米ドル）と比べ３１．６％増加した。

（２）税制改革

（ア）税制改革法案を一部変更（「ポルタフォリオ」紙、２０日）

オカンポ財務・公債相は、税制改革法案の修正について国会の経済委員会との合意を発表し、居住民への配当税率を０％～２０％に、臨時収入課税を１０％～１５％に修正（宝くじ収入への課税は３５％のまま）した。

（イ）税制改革法案は修正され委員会審議に付された（「エル・ヌエボ・シグ

ロ」紙、「エスペクタドール」紙、２７日）

税制改革法案は、更に修正されて経済委員会審議に付された。修正内容は、１００億ペソ超の資産への１．５％の課税の追加、石油収益からの鉱山税の控除、炭素税の非課税品目の追加、加糖飲料と加工食品への課税の暫定的増税措置の追加等。

（３）コロンビアへの海外直接投資は１２６％増加（「ポルタフォリオ」紙、２日）

中央銀行によると、２０２２年前半の海外からの直接投資（FDI）は、９８億４，６００万米ドルで前年同期の４３億５，６００万米ドルと比べ１２６．１％増加した。投資された主な部門は、企業、金融サービス（投資全体の４１％）、鉱業エネルギー（３０％）、運輸、通信（１２％）であった。

（４）８月の年間インフレ率は１０．８４％（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、５日）

国家統計庁（DANE）は、８月の年間インフレ率が１０．８４％と発表した。部門別では、食品、ノンアルコール飲料が２５．５７％上昇と大きく、飲食、宿泊業１５．７３％、家庭用品１４．７５％と続いた。

（５）２０２１年の破産件数は８％減少（「ポルタフォリオ」紙、６日）

企業監督庁は、２０２１年に事業の破産を申請した企業は１，１９３社で、２０２０年の１，２９２社と比べ８％減少したと発表した。２０２１年の申請のうち７７．３７％は再編手続、２２．６３％は精算手続であった。

（６）モバイルインターネットサービスは約８兆ペソを生み出した（「ポルタフォリオ」紙、８日）

通信規制委員会（CRC）は、２０２１年ICT及び郵便レポートを発表し、２０２１年の電気通信部門の収益は２４．３兆ペソで前年より１０．５％増加し、このうちモバイルインターネットが７．９兆ペソと際立つとした。また、オープンテレビ放送は、９４％の世帯に普及（うちアナログ２７％、デジタル２５％、ほかは主にサブスクリプションサービスで視聴）、収益は１．７８兆ペソで３２．５％増加とした。郵便部門の収益は２．３１兆ペソで２．８％増加とした。

（７）財政規律委員会は財政状況に警告（「ラ・レプブリカ」紙、１９日）

財政規律委員会（Carf）は、２０２２年と２０２３年の財政と予算は高い税収の恩恵を受ける一方、財政赤字は当初計画のGDPの５．６％相当でなく、７．３％になるとした。また、オカンボ財務・公債相は、財政赤字がGDPのほぼ８％となるため、税制改革による増税が必須であるとした。

(8) 太平洋岸に新たに再ガス化施設を建設(「ラ・レプブリカ」紙、19日)

エネルギー計画庁(Upme)は、太平洋側に天然ガスの輸入用ターミナルを建設する総額約7億米ドルのプロジェクトを開始すると発表した。主に太平洋岸を含む南西部の需要に応じるもので、2026年末までに稼働し、ブエナVENTOURAで液化天然ガス(LNG)の貯蔵、再ガス化等を行う予定。

(9) 2023年予算案は増額され経済委員会で承認(「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、22日)

2023年予算案は、当初案から14兆1,400億ペソ増額され、総額405兆6,200万ペソで両院の経済委員会で承認され、議会本会議に送られた。

(10) 観光客による外貨流入は経済の再活性化に貢献(「ラ・レプブリカ」紙、24日)

中央銀行の国際収支報告によると、2022年前半の海外からの観光による外貨収入は32億750万米ドルを記録し、新型コロナウイルス流行前の2019年の31億7,050万米ドルの101.2%まで回復した。

(11) 政策金利を10%に引上げ(「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、30日)

中央銀行は、政策金利を1ポイント引き上げ10%とする決定をした。インフレ率の上昇が考慮された結果とした。また、2022年の経済成長予測を6.9%から7.8%に上げたが、2023年の成長予測は1.1%から0.7%に引き下げ、今後数ヶ月の経済減速を予想した。

<対外経済関係>

(1) ハス種アボガドをチリに初輸出(「エスペクタドル」紙、3日)

コロンビアは、世界第2位のハス種アボガドの消費国(1人当たり7キロ)であるチリの植物検疫許可を8月に得て、同国に22.5トンのハス種アボガドの最初の輸出を行った。

(2) パプリカを米国に初輸出(「エル・ヌエボ・シグロ」紙、23日)

コロンビアは、米国農務省動植物検疫局(APHIS)の検疫許可を得て、同国へ最初のパプリカ(トウガラシ)を輸出した。米国へ輸出できる農産物はハス種アボガドなど108種類に達し、プロコロンビアは、更にグルパ類、牛肉、鶏肉などの許可を求めるとする。

(3) ベネズエラとの国境を再開(「ラ・レプブリカ」紙、10日)

政府は、2022年9月26日にベネズエラとの国境を再開すると発表した。ウマニャ商工観光相は、これにより同国に最大65億ペソの輸出が可能となると

述べた。ベネズエラとの貿易は2009年に減少を始め、2015年にベネズエラはコロンビアとの国境を閉鎖し、2019年には外交関係は断交状態となっていた。

(4) ベネズエラから窒素肥料を輸入（「エル・ヌエボ・シグロ」紙、23日）
政府は、ベネズエラから1万6,000トン超の窒素肥料の輸入を発表。これは両国の関係再開の重要なステップになるとした。

(5) ベネズエラとの貿易は中期的に回復（「ラ・レプブリカ」紙、27日）
政府は、ベネズエラとの国境再開により2022年12月までに12億米ドル、2023年に20億米ドル、2026年までに40億米ドルの貿易額が達成されると試算。2021年のベネズエラとの貿易額は3億9,400万米ドルで、2022年は年初からの7ヶ月で既に3億8,300万米ドルに達し、増加傾向にある。コロンビアからは、菓子類、ポリプロピレン、パーム油等を輸出し、ベネズエラからは、化学製品、塩、硫黄、機械類、アルミニウム等を輸入している。ベネズエラに製品を輸出するコロンビア企業は80社超あるとされ、また、アビアンカやウインゴなどの航空会社は航空便の再開を計画する。

主な経済指標

経済活動指標	2021/7	2022/5	2022/6	2022/7
国内総生産(四半期)(DANE): %	13.7	12.6	12.6	-
経済活動指数(DANE): %	14.1	17.2	8.6	6.4
経済活動指数第1次産業(DANE): %	2.4	8.1	-2.4	-1.7
経済活動指数第2次産業(DANE): %	14.4	31.8	9.5	7.1
経済活動指数第3次産業(DANE): %	16.1	16.2	10.5	7.6
エネルギー需要(XM): GWh	6,377	6,578	6,208	6,565
エネルギー需要-前年同月比(XM): %	8.3	8.9	3.1	3.4
雇用				
全国平均失業率(DANE): %	13.1	10.6	11.3	11.0
主要13都市失業率(DANE): %	14.7	11.0	11.7	11.3
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO): %	-7.5	-14.7	2.9	-10.4
実質小売売上高指数(DANE): %	26.9	34.8	17.2	7.7
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS): 台	23,130	22,435	23,323	23,258
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS): 台	134,299	100,526	123,849	147,107
物価				
消費者物価上昇率-前年同月比(DANE): %	0.32	0.84	0.51	0.81
消費者物価上昇率-前年比(DANE): %	3.97	9.07	9.67	10.21
生産者物価上昇率-前月比(DANE): %	1.50	3.13	-0.59	2.60
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省): ペソ/ガロン	8,828	9,372	9,372	9,523
生産				
実質工業生産指数(DANE): %	20.1	46.2	12.3	5.2
実質工業売上高指数(DANE): %	20.8	45.5	9.6	3.5
新規建設着工承認面積(DANE): m ²	1,821,952	1,827,007	2,534,324	3,904,226
コーヒー生産量(FNC): 千袋(60Kg)	1,209	1,017	951	944
コーヒー生産量-前年同月比: %	-8	65	-10	-22
コーヒー価格(IOC)/11月から "SUAVE": US	214.44	285.19	301.24	286.99
石油生産量(日量)(鉱山省): バレル	731,256	746,960	752,503	748,286
石油生産量-前年同月比(鉱山省): %	-0.5	6.2	8.4	2.3
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省): バレル	730,147	746,534	747,529	747,637
石油価格WTI: USD /バレル	72.49	109.55	114.84	101.62
金融				
政策金利(中央銀行): %	1.75	6.00	6.00	7.50
為替 月初(中央銀行): COP	3,748.50	3,966.27	3,776.52	4,151.21
為替 月末(中央銀行): COP	3,867.88	3,912.34	4,127.47	4,300.30
為替 最高値(中央銀行): COP	3,918.49	4,110.53	4,129.87	4,627.46
為替 最安値(中央銀行): COP	3,748.50	3,912.34	3,771.63	4,151.21
株式指数 月初(中央銀行): COP	1,260.42	1,582.67	1,604.54	1,357.98
株式指数 月末(中央銀行): COP	1,236.73	1,603.23	1,322.88	1,295.96
株式指数 最高値(中央銀行): COP	1,298.44	1,613.72	1,614.09	1,357.98
株式指数 最安値(中央銀行): COP	1,236.73	1,411.11	1,322.88	1,259.80
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE): 百万米ドル	-1,017	-1,624	-323	-494
輸出額(FOB)(DANE): 百万米ドル	3,444	4,660	5,557	5,914
輸出額(FOB)-前年同月比(DANE): %	35.0	50.5	74.6	71.7
輸出額(FOB)年内累計(DANE): 百万米ドル	21,633	23,090	28,647	34,561
輸入額(CIF)(DANE): 百万米ドル	4,801	6,805	6,368	6,891
輸入額(CIF)-前年同月比(DANE): %	31.7	55.6	29.4	43.5
輸入額(CIF)年内累計(DANE): 百万米ドル	31,454	32,138	38,506	45,397
労働者送金(中央銀行): 百万米ドル	742	841	822	889